

ニュージーランド 北島 ピナクルズ 山行報告書

No. 12

日程：2025年〔令和7年〕2月13日～14日

コース：ロトルア宿 ⇒ ピナクルズカーパーク ⇒ ピナクルズ小屋 ⇒ ピナクルズ
⇒ ピナクルズ小屋 ⇒ ピナクルズカーパーク ⇒ オークランド宿

参加者：三栗五月・岡村真由美・岡村繁雄 他2名

ニュージーランドの自然保護局 環境保全省〔DOC (Department of Conservation)〕のホームページよりアカウントを登録後、山小屋の予約をする必要がある。

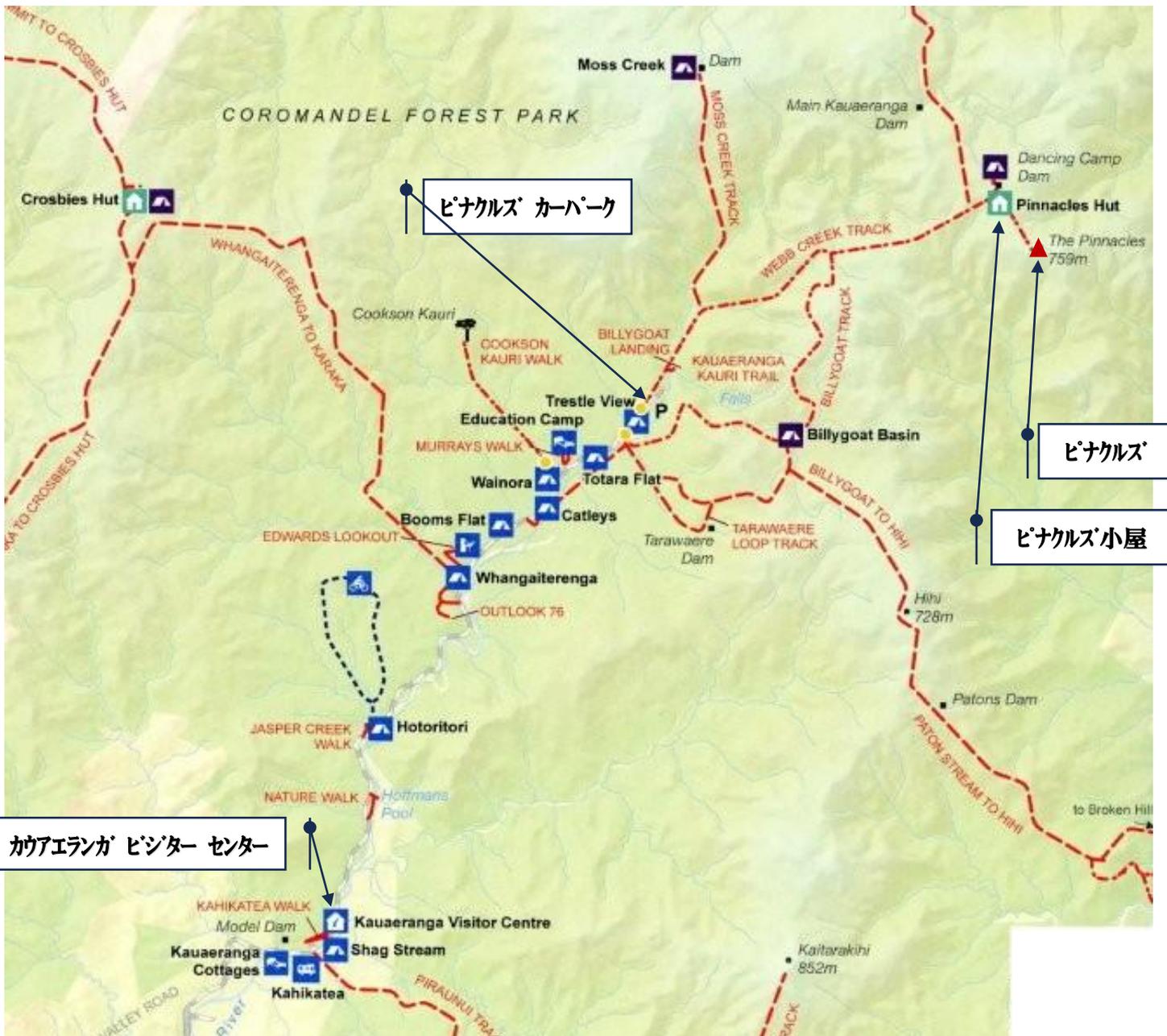
始めて予約をするため、ややてこずった。

料金は、素泊り日曜日から木曜日まで大人 1泊 25ドル、金曜日と土曜日は大人 35ドルである。

ロトルアを夜明け前の6時出発、約2時間30分でカウアエランガ ビジターセンターへ。

情報収集後、未舗装路を10数分走ってピナクルズ カーパークに到着。

ピナクルズハットまでコースタイム3時間である。



カウアエランガ溪谷のウォーキングとトレッキングコース パンフレットより抜粋



ピナクルズ ハットまで3時間



駐車場前の登山口にて〔9時16分出発〕



外部からの異物を入れないための靴裏洗浄

最初の30分は高低差はさほどなく良く整備された登山道
ここから登りとなる

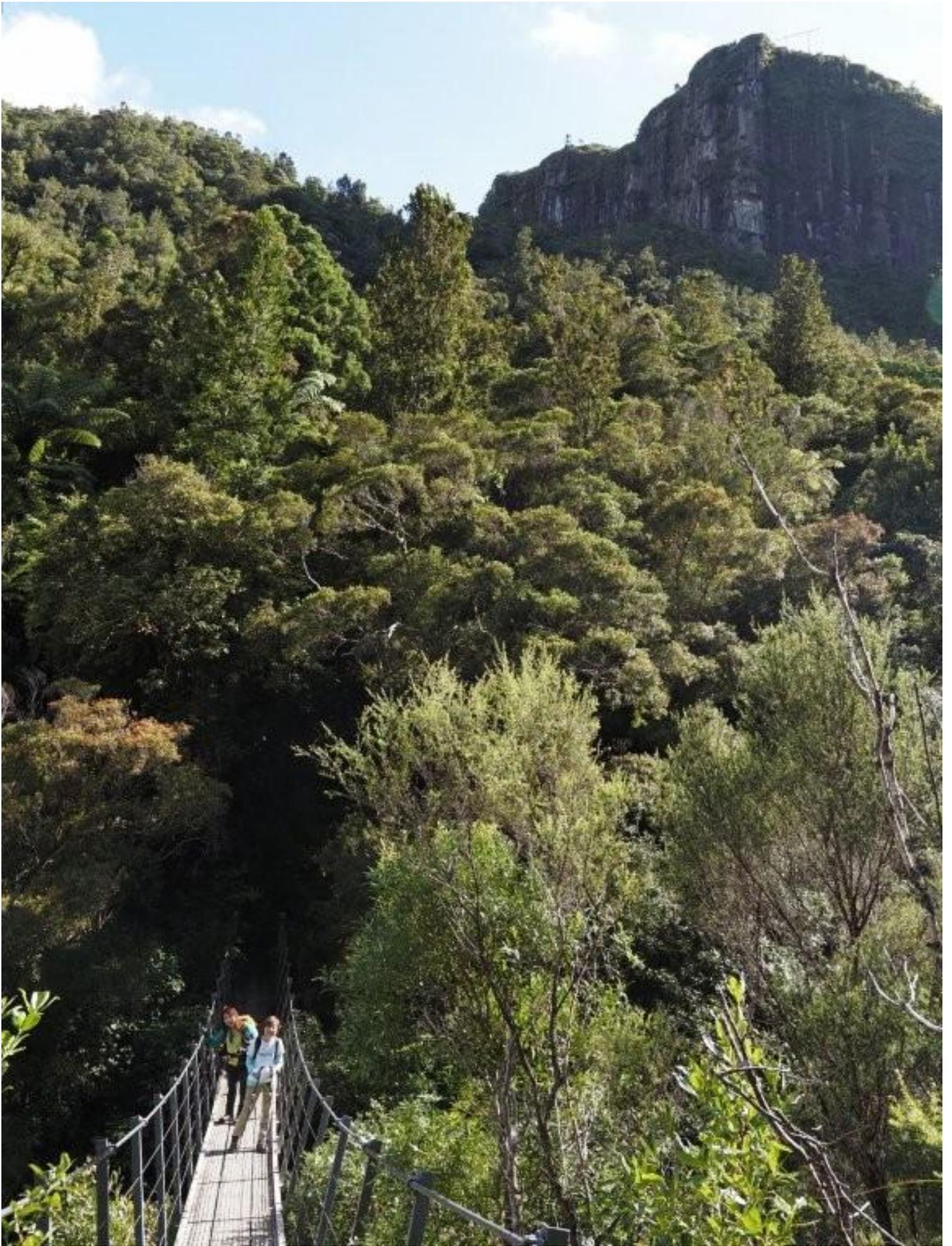
〔9時44分〕





最初のしっかりとした
つり橋





二番目のつり橋



三番目のつり橋 定員 1名と記載されている



4番目のつり橋



ピナクルズの岩峰が確認できた



ピナクルズ小屋の屋根が見えた〔望遠〕



ピナクルズ小屋に到着〔12時35分〕



ピナクルズ小屋で一休み

ピナクルズの岩峰は、それなりに目を引くものだった。
曇りベースであるが時折青空も望めて、まずまずの天候である。
ピナクルズ小屋は管理人がまだ到着しておらず、15時半くらいにならないと来ないとのこと。
ゆっくりと休息後、14時頃から山頂を目指すこととした。

前方 ピナクルズ





ピナクルズを望む〔望遠〕

山頂への登山道は、ずっと木製の階段で、上部の岩場はハシゴと随所に鉄杭が打たれ、至れり尽くせりで誰でも登れるように整備されていた。



整備された
階段が続く



この先の岩場からは ハシゴと鉄杭の階段で整備されたルートとなっている



ハシゴを登る



鉄杭の階段

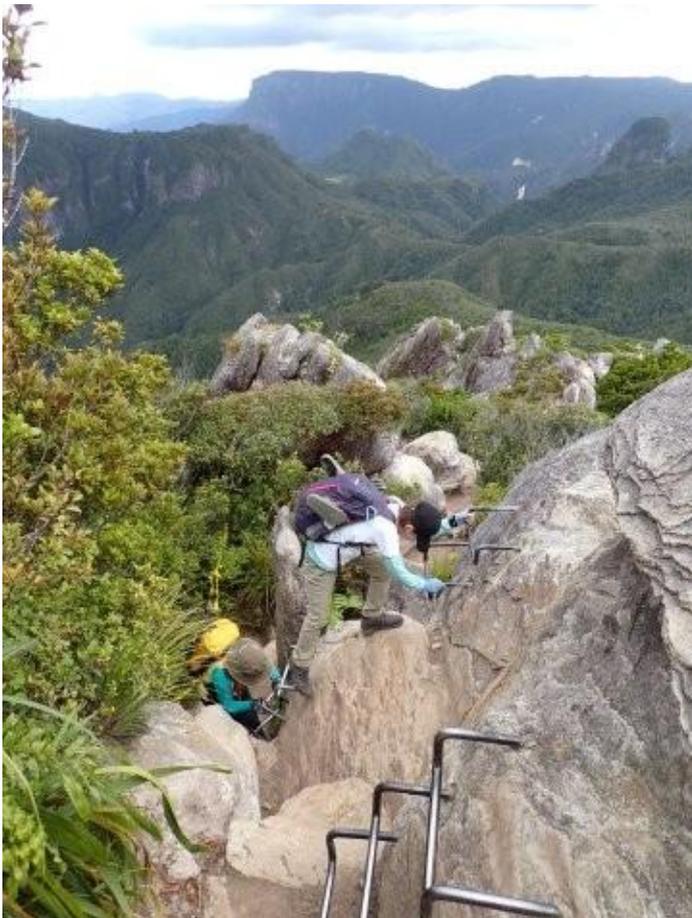


ピナクルズ山頂 [773m] は展望台となっている



山頂から下山

ピナクルズ小屋から 50 分で到着。
山頂には、展望台が組んであり、危険の無いようかなり規制されていた。





下山時 右前方にピナクルズ小屋



東の方向を望む〔望遠〕



ガスコンロが完備されたキッチン

夕食を兼ねて持ち上げたワインで宴会





使用しなかったがシャワー室も完備



離れのトイレ

15時半過ぎには、管理人により宿泊の簡単なチェックと説明があり、二十人前後の宿泊者がいただろうか、各自思い思いにベットに入った。

我々もマットだけが敷いてあるベットサイドの一角に、持参のシュラフ等を引いて場所取りをした。キッチンにはガスコンロと水道のみで、持参の夕食を思い思いに自炊して、持ち上げたワイン3本で宴会。あっという間に飲み干してしまった。

夜もさほど冷えず、ぐっすりと眠ることができた。



キッチンの前のフロアー



寝室 マットのみのため シュラフ持参



ピナクルズ小屋よりピナクルズを望む



ピナクルズ小屋を出発〔7時00分〕
ほどなく電柱が設置された横を通過



ピナクルズカーパークに到着〔9時40分〕



下山時 角度を変えてつり橋を撮影

日の出が7時前であったため5時頃に起床し、各自食堂で自炊し朝食を済ませピナクルズ小屋を7時出発。

高曇りで風もなく快適な気温である。

各メンバーさすがに疲れがたまっている感じであるが、登り約3時間20分かかった登山道を、2時間40分ほどで下山できた。

下山時に結構登る登山者が多かったこともあり、駐車場には多くの車が止まっていた。

カウアランガ溪谷周辺にはキャンプサイトが多くあり、結構多くの利用者も見られ、なかなか良い感じの場所である。

北九州山岳同好会「嵐」

Reported by S.Okamura Photo presented by S.Okamura